

高知県感染症発生動向調査（月報）

2023年1月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第1週(1月2日～)から第4週(～1月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における1月の上位6疾患の合計は60.37で12月の4週間換算値26.99と比べて増加した。3シーズンぶりにインフルエンザの流行が始まったことが増加の原因である。同時期を過去10年間で比較すると新型コロナ流行が始まった2021年以降では最多だったが、コロナ前と比べると少ない。

1位はインフルエンザで32.05(12月2位4週間換算値が3.36)と増加した。2位は感染性胃腸炎で24.35(同1位18.26)と増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌で1.28(同4位1.42)と横ばいだった。4位はRSウイルス感染症で0.96(同3位1.76)と減少した。5位は突発性発疹で0.87(同6位0.89)、6位は流行性角結膜炎で0.86(同7位0.82)といずれも横ばいだった。

〈全国の新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

2022年1月の第6波、7月の第7波、10月に始まった第8波は、いずれも流行株はオミクロン(ο)株であるが、亜種がBA.1.1→BA.2→BA.5へと主流が置き換わりながら、感染力を強めている。第8波のCOVID-19は、軽症化したが高感染力を増したBA.5によりこれまでで最多の1日死者数を記録する日々が続いた。さらにBQ.1が国内で流行し始め、1月に米国で主流株となっているXBB.1.5が新たな脅威となっている。

2023年1月30日時点で、世界では、感染者数は6億6,871万人を、死者は675万人を超えた。日本の感染者数は32,485,787人、死者は67,845人となった(図1)。感染者数では日本は世界第6位である。

経時的な年齢階層別患者数を図2Aに、1月30日の時点で累積感染者数が人口に占める割合を図2Bに示す(総務省統計局作成の2021年8月現在人口推計を用いて算出<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202108.pdf>)。感染者の割合は、10歳未満がトップで40.02%(100人当たり40.02人が感染済み)、次いで10代が37.73%、20代が34.75%、30代32.60%、40代25.72%と続いている。ο株になって「年少者ほどかかりやすい感染症」に変わった理由は明らかでない。

COVID-19は高齢になるほど重症化しやすいが、第6波以降に致死率が低下した。δ株が流行した21年8月-9月までと、ο株による第8波まで(本年1月のデータ)とで致死率を比較すると、80代以上 約15.0%→2.8%、70代 5.0%→0.8%、60代 約1.2%→0.2%と低くなっており、ο株になって明らかに軽症化している。

コロナワクチンについては、成人に対するブースター接種が進められ、3月から5-11歳の小児への接種が開始されたが、接種率は伸び悩んでいる。小児の感染者が激増しており、脳症など重篤となる幼児が報告されるようになったことを受けて、10月24日から6か月-4歳への接種(努力義務)が開始された。ο株対応の新たなワクチンも接種が進められている。

政府は、5月8日から新型コロナウイルス感染症を感染症法2類相当疾患から5類疾患に変更することを決めた。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	1週	2週	3週	4週	計
1	インフルエンザ		4.73	7.37	9.59	10.36	32.05
2	感染性胃腸炎		3.50	5.76	7.71	7.38	24.35
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.21	0.27	0.40	0.40	1.28
4	RSウイルス感染症		0.18	0.18	0.29	0.31	0.96
5	突発性発疹		0.18	0.23	0.24	0.22	0.87
6	流行性角結膜炎		0.22	0.24	0.21	0.19	0.86

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

感染症法5類疾患で定点報告が必要な感染症は、前月の4週換算値14.10よりも増加して55.39となり、全国と同等だった（表2）。高知県においてもインフルエンザの流行が始まり、同時期としては、新型コロナ流行が始まって以降最も多かったが、コロナ前と比べるとまだ少ない数字である。

高知県における1月の上位6疾患は次のとおりである。1位はインフルエンザで28.67（12月7位0.45）、2位は感染性胃腸炎で21.85（同1位6.94）といずれも増加したが、全国よりもわずかに少なかった。3位はRSウイルス感染症で2.15（同3位1.24）と増加し、全国よりも多かった。4位は突発性発疹で1.15（同4位1.10）と横ばいで全国よりも多かった。5位は手足口病で1.01（同2位3.14）と減少したが、全国よりも多かった。6位はA群溶血性レンサ球菌で0.56（同5位1.07）と減少し、全国よりも少なかった。

<高知県のCOVID-19>

高知県におけるCOVID-19の月別患者数と死亡者数を図3に示す。δ株流行による第5波のピークは2021年8月で1,382人/月だった。o株の亜型BA.1流行による第6波のピークは2022年2月の5,971人で、o株亜型BA.2の流行による第7波のピークは同8月の41,285人/月であった。o株亜型BA.5による第8波のピークは同12月の25,4961人/月であり1月下旬から減少に転じ現在に至っている。

2月2日の時点では感染者は163,471人となり、死亡は先月から88人増えて546人となった。8月以降の死亡数の増加の原因は、患者絶対数の激増に加えて、高齢者の感染者割合が増加した（図4）ことによると推測される。集団発生（クラスター）は、GW後、6月下旬、8月、1月にピークがあり（図5）、8月と12月以降は高齢者施設と医療機関での発生が増加し、高齢感染者割合の増加をもたらした。

2022年2月以降に高知県で検出・解析されたウイルス変異株の内訳を図6に示す。1月上旬の大半はδ株であったが、1月中旬以降にo株（BA.1）が増加し、主たる流行株に置き換わった。3月中旬からo株の亜種であるBA.2が増加し、4月以降に主流株に置き換わった。亜種BA.5が6月22日に県内で初めて検出され、7月中旬以降の主流株に置き換わり、さらに新たな亜種BQ.1が12月15日に本県で初めて検出され、今後の主流株に置き換わるものと予想される。

県の対応ステージは、以下のとおりで、2022年は対応ステージが目まぐるしく変更された。

2021年 8月19日～「非常事態（紫）」、10月28日～「感染観察（緑）」、
 2022年 1月7日～「注意（黄）」、同14日～「警戒（オレンジ）」、同20日～「特別警戒（赤）」、さらには、2月12日～3月6日「まん延防止等重点措置」、3月24日～「警戒（オレンジ）」7月29日～「特別警戒（赤）」、8月16日～「特別対策（紫）」・「BA.5対策強化宣言」、9月16日～「特別警戒（赤）」、同26日～「警戒（オレンジ）」、10月6日～「注意（黄）」、11月17日～「注意（黄）」（県の対応ステージの運用が見直された）、12月9日～「警戒強化（赤）」、
 2023年 1月11日～「対策強化（紫）」、1月27日～「警戒強化（赤）」。

1月29日時点で、県下で3回目接種を受けた者（5歳以上）が69.3%、4回接種を受けた者が50.5%、5回接種を受けた者が26.5%である（表3）。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	1週	2週	3週	4週	計
1	インフルエンザ		2.87	7.18	8.58	10.04	28.67
2	感染性胃腸炎		3.78	4.37	6.74	6.96	21.85
3	RSウイルス感染症		0.30	0.41	0.63	0.81	2.15
4	突発性発疹		0.37	0.11	0.30	0.37	1.15
5	手足口病		0.30	0.22	0.30	0.19	1.01
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.00	0.19	0.15	0.22	0.56

図1. 2023年1月30日時点でのCOVID-19（厚生労働省HPから）

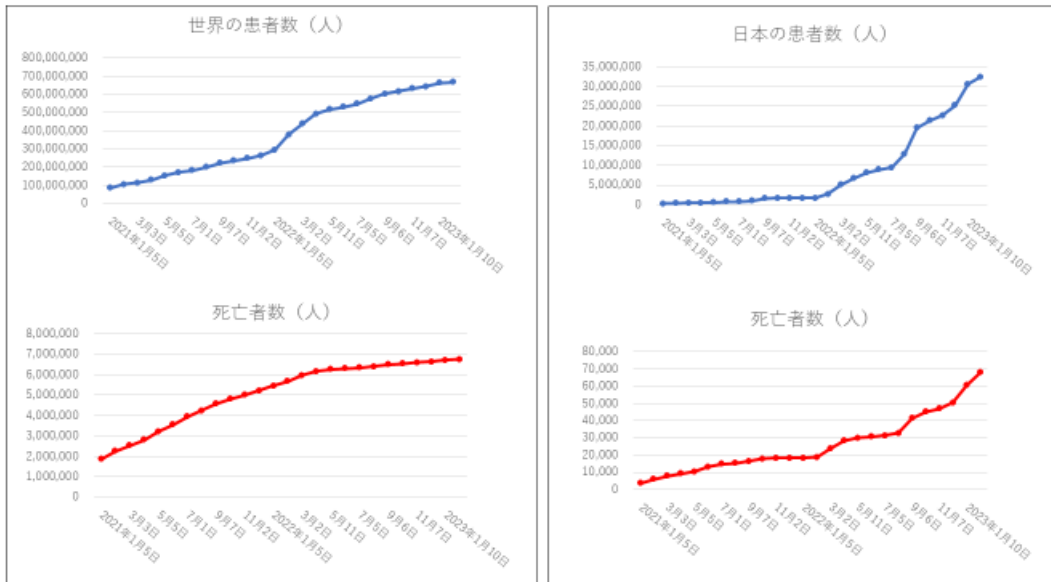


図2A. 年齢別感染者数の推移

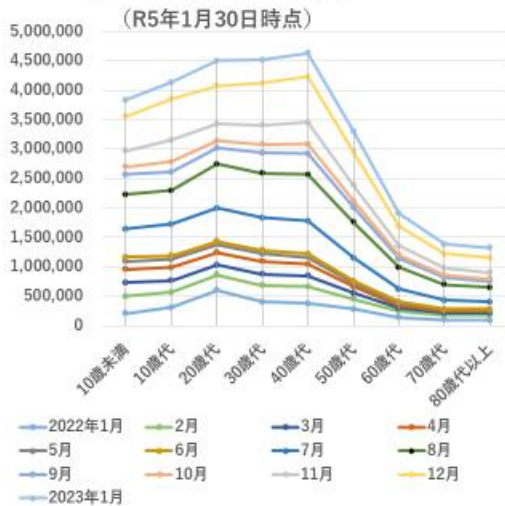


図2B. 年代階層別感染者割合

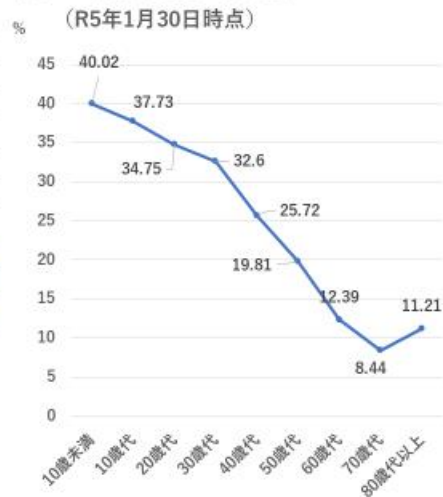


図3. 高知県のCOVID-19月別患者数（上）と死亡者数（下）
～2023年1月31日

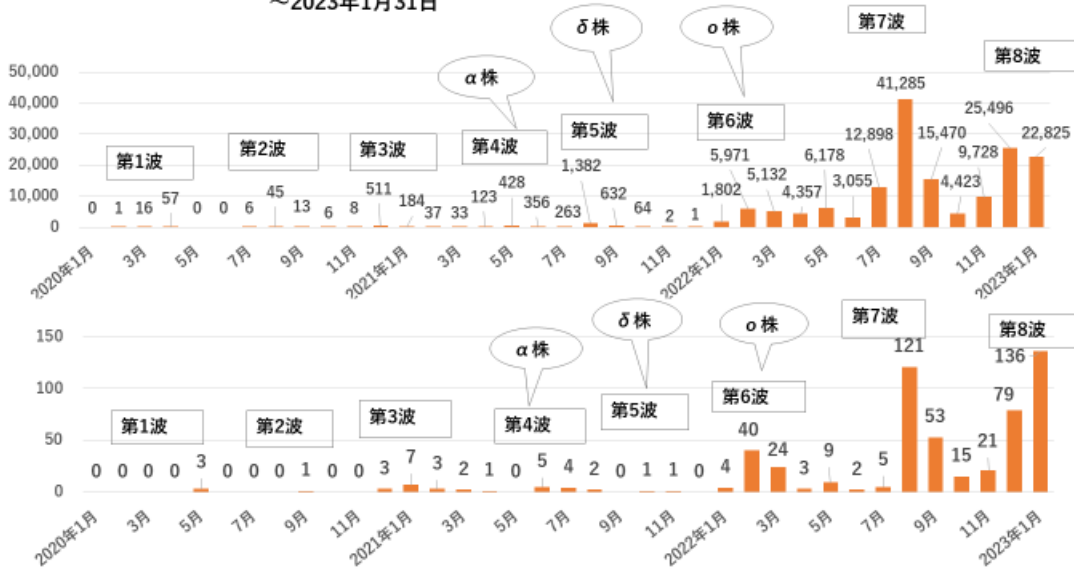


図4. 高知県COVID-19患者の年齢別比率

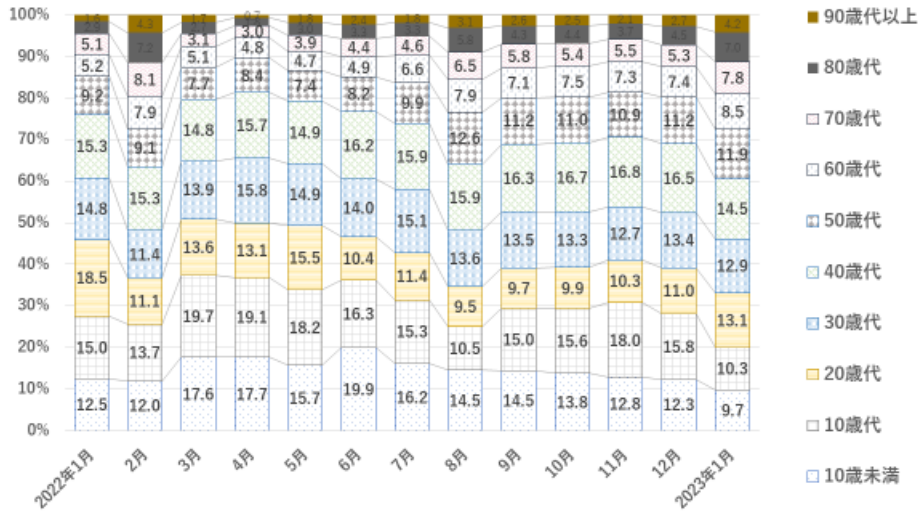


図5. 県下のCOVID-19集団発生件数

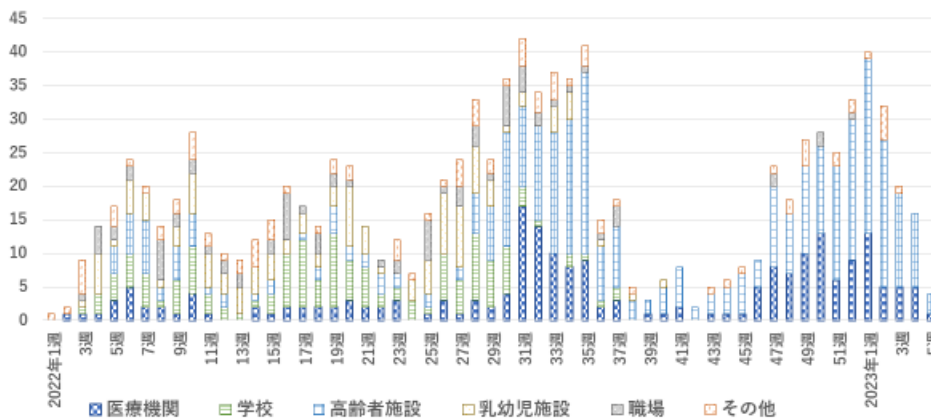


図6. 高知県で検出されたウイルス変異株の内訳

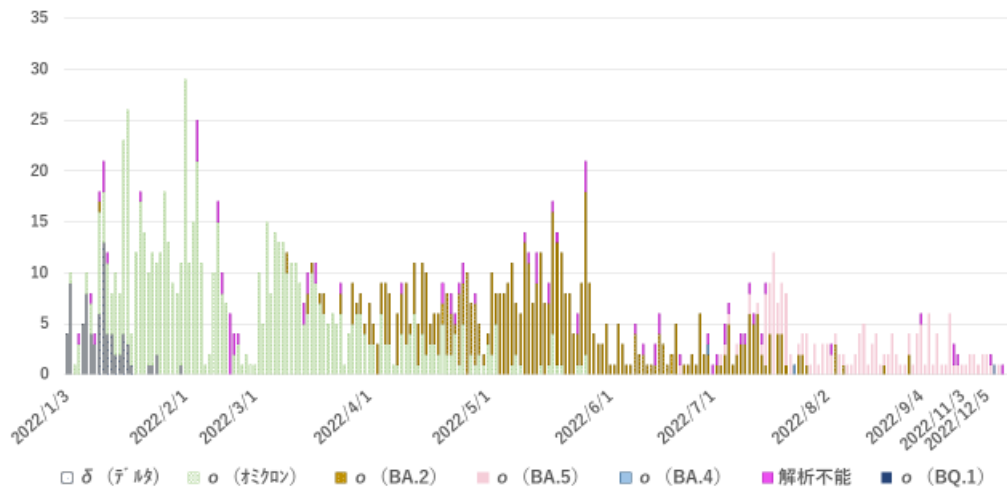


表3 コロナワクチン3回目・4回目及び5回目の接種率
(2023年1月29日時点)

	3回接種	4回接種	5回接種
全国(5歳以上)	70.2%	46.7%	23.1%
県全体(5歳以上)	69.3%	50.5%	26.5%

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 1,290名(12月 25名)。2020/21年に続いて2021/22シーズンも流行がなく、これは統計がある1998年以降で初めてだった。しかし12月、1月と患者数の立ち上がりを見とめ、2022/23シーズンは流行に突入した。東京都同様に高知県でもAH3型ウイルスが検出されており、AH3が流行株である。県下全域から報告されており、高知市、須崎が特に多かった。ウイルスは11件検出されており、いずれもAH3型である。

2) 咽頭結膜熱

報告数 5名(12月 5名)。過去10年で同時期としては2番目に少ない報告数だった。須崎、高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 15名(12月 36名)。過去10年で同時期としては最も少ない報告数だった。高知市、安芸、中央西から報告された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 590名(12月 234名)。同時期としては平年並みの数字となった。県下全域から報告され、高知市、須崎、中央東で特に多かった。Norovirus GII NTが5件検出された。

5) 水痘

報告数 6名(12月 20名)。少ない数字で推移していて、同時期として過去10年間で最少であった。幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。

6) 手足口病

報告数 27名 (12月 106名)。平年は5-6月に流行が始まるが、今年は遅れて8月に流行が始まり、だらだらと続いているが規模は大きくない。中央東、高知市、幡多、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスはCoxsackievirus A6が1件検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 2名 (12月 2名)。2020年9月以降は一桁の少ない報告数が続いている。高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 31名 (12月 37名)。想定内の変動である。

9) ヘルパンギーナ

報告数 0名 (12月 2名)。2022年8月から流行が始まったが規模は小さく、過去10年間で最も少ない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 1名 (12月 1名)。2020年10月から2022年1月まで同時期として過去10年で最少が続き、7月以降も最少の報告数が続いている。須崎から1名が報告された。

11) RSウイルス感染症

報告数 58名 (12月 42名)。2021年は夏の大流行となり、10月以降に終息した。2022年は、7月から流行が始まり昨年に比べると緩やかに増加し、11月には減少に転じていたが1月に再度増加した。幡多、中央西、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。9月2日に採取された臨床検体からA型ウイルスが1件、12月3日に採取された臨床検体からB型ウイルスが検出されている。

12) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (12月 1名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (12月 0名)。年間10名前後の報告で推移していたが、2017年以降は6名/年以下で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は1例もなく、成人例も近年減少している。1月はGBS (Streptococcus agalactiae) による髄膜炎の0歳1か月児例が報告された。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (12月 0名)。従来は年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年2名、2021年3名、2022年は1名と少なくなっている。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (12月 3名)。依然として少ない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 13名 (12月 21名)。平年並みである。高知市、安芸=中央東=幡多の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (12月 0名)。年1-2名の報告が続いている。

高知県における月別全数報告疾患（令和5年1月）

類型	病名	報告月	総計
		1月	
2	結核	3	3
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1
5	アメーバ赤痢	1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1
	水痘（入院例に限る）	1	1
	梅毒	5	5
総計		14	14

高知県感染症情報 月報(62定点医療機関)

2023年

1月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ	26	255	653	88	144	124	1,290	25	7
小児科	咽頭結膜熱		1	2		1	1	5	5	24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		13	1			15	36	55
	感染性胃腸炎	37	145	302	12	53	41	590	234	605
	水痘		1	3			2	6	20	13
	手足口病		12	11	1		3	27	106	3
	伝染性紅斑			2				2	2	3
	突発性発疹	1	5	12	3	5	5	31	37	35
	ヘルパンギーナ								2	1
	流行性耳下腺炎					1		1	1	1
	RSウイルス感染症		10	14	7			27	58	42
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								1	1
STD	性器クラミジア感染症		1	3				4	7	3
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症								1	2
基幹	細菌性髄膜炎						1	1		
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎								3	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			3				3		1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	10			1	13	21	17
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		66	431	1,028	112	204	205	2,046	543	771
前月		22	78	256	16	24	147			
前年同月		37	146	296	62	59	171			
小児科定点数		2	7	9	2	2	5			

高知県感染症情報 月報 (62定点医療機関)

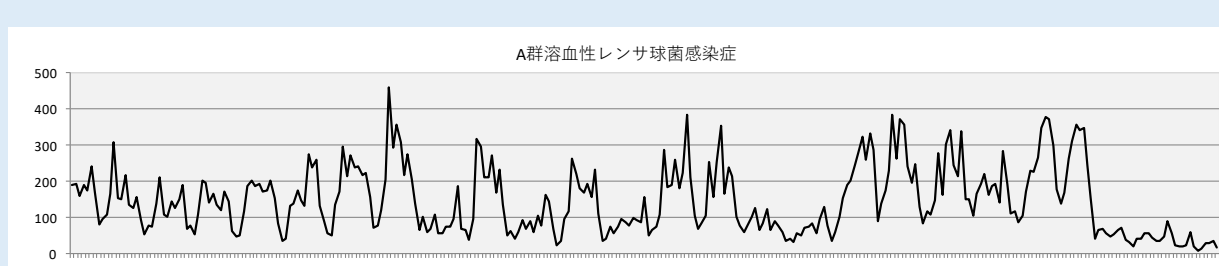
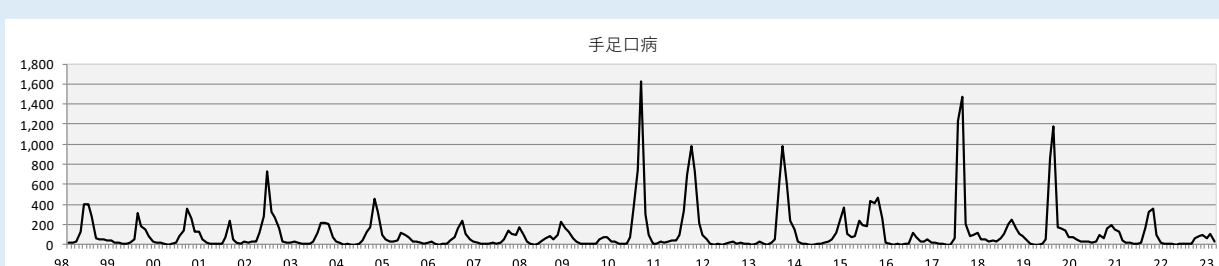
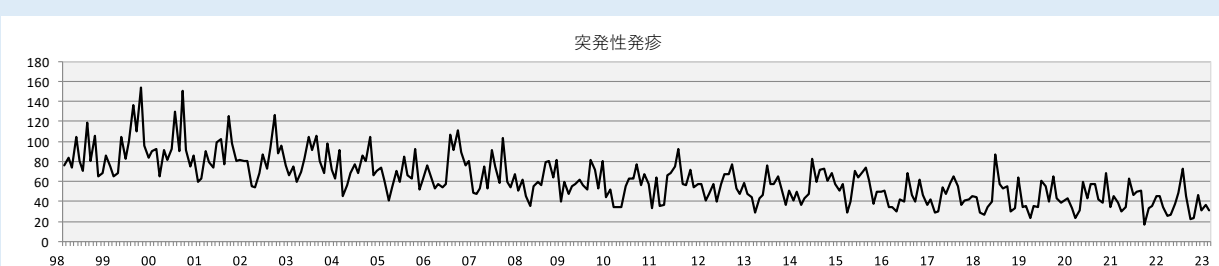
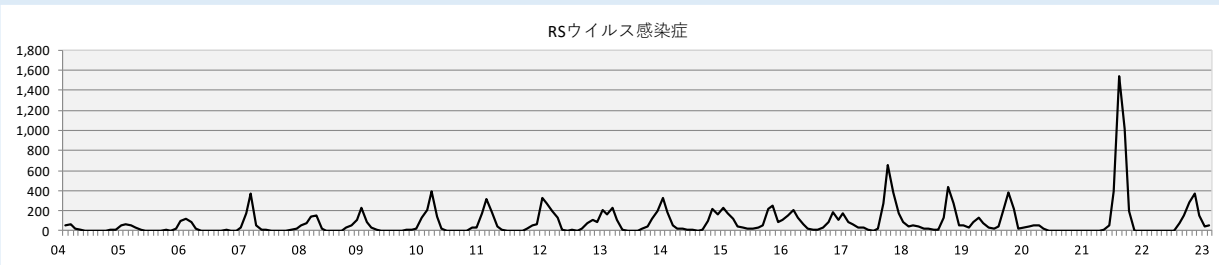
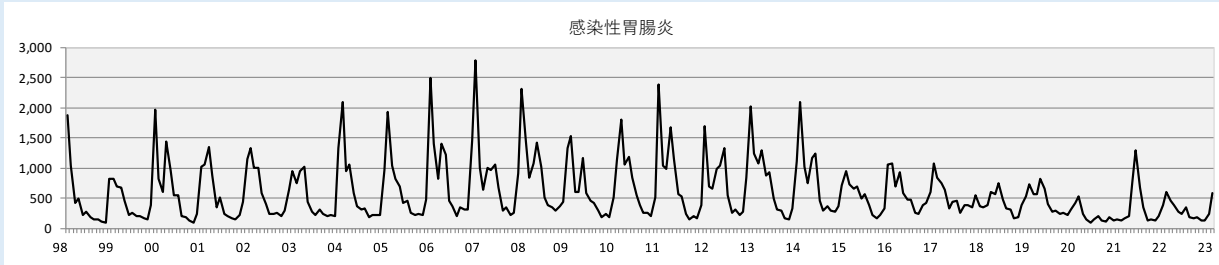
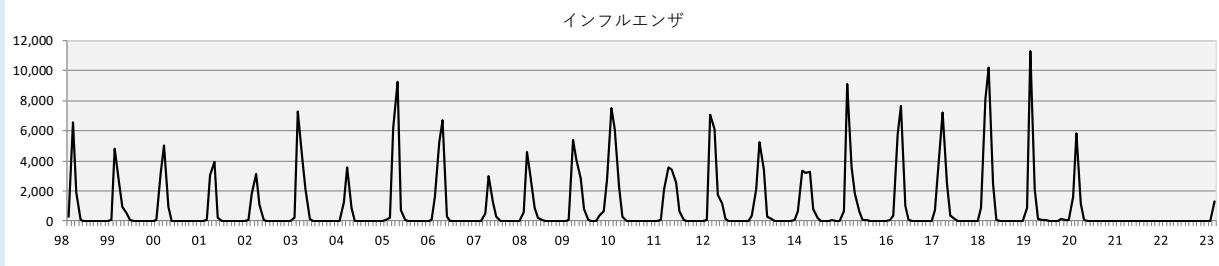
2023年

1月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	6.50	23.18	46.64	22.00	36.00	15.51	28.67	0.56	0.15
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.22		0.50	0.20	0.18	0.18	0.85
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50		1.44	0.50			0.56	1.34	1.97
	感染性胃腸炎	18.50	20.71	33.55	6.00	26.50	8.20	21.85	8.68	21.61
	水痘		0.14	0.33			0.40	0.22	0.75	0.47
	手足口病		1.72	1.21	0.50			0.60	1.01	3.92
	伝染性紅斑			0.22				0.07	0.08	0.12
	突発性発疹	0.50	0.71	1.32	1.50	2.50	1.00	1.15	1.38	1.25
	ヘルパンギーナ								0.07	0.04
	流行性耳下腺炎					0.50		0.04	0.04	0.04
	RSウイルス感染症		1.42	1.56	3.50			5.40	2.15	1.55
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								0.33	0.33
STD	性器クラミジア感染症		0.50	1.50				0.67	1.17	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症								0.17	0.33
基幹	細菌性髄膜炎						1.00	0.13		
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎								0.38	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			0.60				0.38		0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	1.00	2.00			1.00	1.63	2.63	2.13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		26.00	48.02	86.49	34.00	66.00	31.31	55.90	18.55	26.62
前月		10.50	10.61	24.98	7.75	11.25	28.38			
前年同月		18.50	20.85	30.33	20.67	27.75	34.00			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

2023年1月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和5年1月はウイルス34件の搬入があり、そのうちウイルス17件の病原体を検出しました。検出ウイルスの内訳は、Coxsackievirusウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2	女	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,腹痛,	ふん便	12/22	Norovirus GII NT
2	19	男	インフルエンザ	40℃,下痢,腹痛,咳嗽,関節痛,	ぬぐい液	1/4	Influenza virus A H3 NT
3	4	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H3 NT
4	4	女	インフルエンザ	39℃,	鼻咽頭ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H3 NT
5	5	男	-	嘔吐,腹痛,	ふん便	1/10	Norovirus GII NT
			インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	1/17	Influenza virus A H3 NT
6	4	男	インフルエンザ	39℃,嘔吐,	ぬぐい液	1/10	Influenza virus A H3 NT
7	1	男	手足口病	41℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/11	Coxsackievirus A6
8	6	女	-	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	1/13	Influenza virus A H3 NT
9	1	女	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	1/13	Influenza virus A H3 NT
10	2	女	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	1/13	Norovirus GII NT
11	4	男	インフルエンザ	40℃,下痢,咳嗽,	ぬぐい液	1/16	Influenza virus A H3 NT
12	9	女	インフルエンザ	40℃,嘔吐,関節痛,	ぬぐい液	1/16	Influenza virus A H3 NT
13	7	男	インフルエンザ	39℃,嘔吐,咳嗽,	ぬぐい液	1/16	Influenza virus A H3 NT
14	8	男	インフルエンザ	39℃,下痢,上気道炎,	ぬぐい液	1/17	Influenza virus A H3 NT
15	3	男	-	下痢,嘔吐,	ふん便	1/18	Norovirus GII NT
16	1	男	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,	ふん便	1/18	Norovirus GII NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2022年		2022年総	2023年1月
		1月	12月		
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT				10
	Rhinovirus		1	1	
	計		1	1	10
咽頭結膜熱	Adenovirus 2	1		1	
	計	1		1	
感染性胃腸炎	Astrovirus NT		1	1	
	Norovirus GII NT				3
	Sapovirus genogroup unknown		3	3	
	計		4	4	3
手足口病	Coxsackievirus A6				1
	Human herpes virus 7		1	1	
	計		1	1	1
その他	Adenovirus 1		1	1	
	Cytomegalovirus		2	2	
	Human herpes virus 6		3	3	
	Human herpes virus 7		2	2	
	Influenza virus A H3 NT				1
	Norovirus GII NT				2
	Respiratory syncytial virus A		1	1	
	Respiratory syncytial virus B		1	1	
	Rhinovirus		6	6	
計		16	16	3	
総計		1	22	23	17

※2022年2月～11月までは感染症発生動向調査を中断しております。

類型	病名	報告年																						総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2021	2022	2023
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	3	1951
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	3	1951
3	コレラ	1					1						1														3
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2							27
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3		210
	腸チフス			1						1								1				1					4
	パラチフス	2																									2
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3		246
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1			2					34
	E型肝炎												1		1							2	1		1		6
	オウム病			1		1														1							3
	Q熱	1	1	2				1																			5
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	62
	つつが虫病			9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	99
	デング熱												1				3	2	1				2				9
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12		223
	日本脳炎	1	1	1					1				1	1													6
	マラリア								2					1								1					4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8		97
	レプトスピラ症												1	4	2	1					1						9
		計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	1
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1			2	1	1	2	2	2	64	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																	7	19	21	22	21	20	10	5	12	1
	急性弛緩性麻痺																					1	2				3
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2		24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	3		1		36
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1			1		1		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4		37
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6			6		87
	ジアルジア症		1	2	1							1			1	1					1						8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																	1	5	3	4	7	3	1	1	3	1
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	1
	水痘（入院例に限る）																		2	1	1	3		3	3	3	1
	髄膜炎菌性髄膜炎										1																1
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	5	383
	播種性クリプトコックス症																			1	3	5				4	13
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			2	3	1	3	39
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1									1						1		1	1					5
	百日咳																					173	172	35	3	9	392
	風しん											1	1			4	9	1				3					19
	麻疹											5															5
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	10	
新型	新型インフルエンザ																										34
	新型コロナウイルス感染症																							663	3505		4168
	計																							663	3505		4202
動物	鳥インフルエンザ																										1
	計																										1
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	877	3726	221	14	